

2022年
1月

県内景況・確報

◎概況

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる。

●2022年1月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースで前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

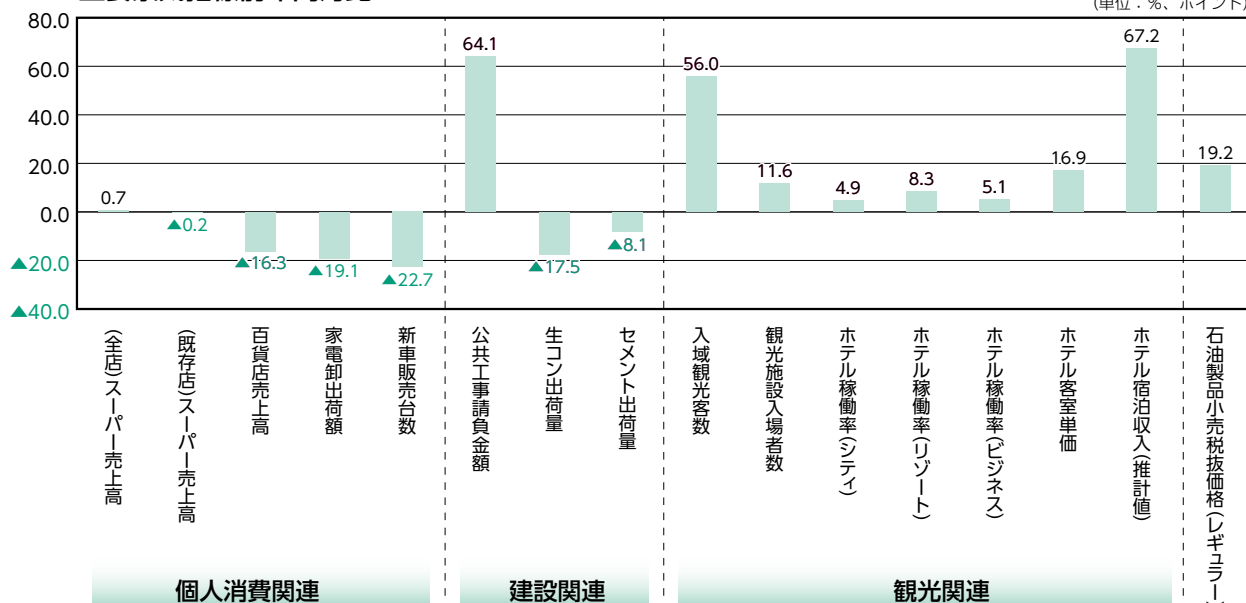
建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンとセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数においても前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）においても前年同月を上回りました。しかしコロナウイルス感染拡大の影響により、前々年同月と比べると厳しい状況となっています。

このような状況に鑑みて、個人消費は新変異株の流行や、耐久消費財の供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染拡大により、持ち直しの動きが停滞しています。よって、「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる**」と景気判断を引き下げました。（下方修正）

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



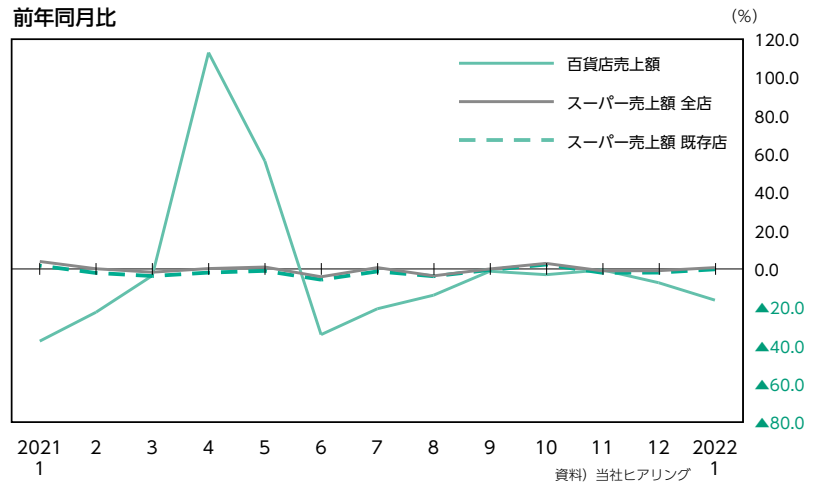
(やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースで前年同月を上回る。既存店ベースで前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比0.7%増）」は、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同2.6%増）」は年始のおせち料理やギフト商品が好調だったことなどにより前年同月を上回りました。「衣料品（同14.9%減）」、「家庭用品（同2.7%減）」については「まん延防止等重点措置」の適用により中旬以降の客足が鈍り、前年同月を下回りました。

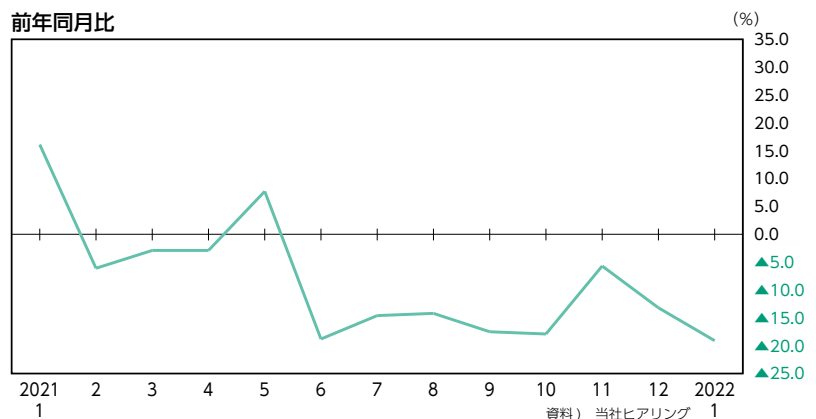
「既存店ベース（同0.2%減）」は、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同2.1%増）」は、おせち料理やギフト商品の需要増加により前年同月を上回りました。「衣料品（同14.9%減）」や「家庭用品（同5.3%減）」は9日に新たな変異株の流行に伴う「まん延防止等重点措置」が適用されたことによる来客数の減少などにより、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました（同16.3%減）。内訳をみるとウェイトの高い、「食料品（同2.4%減）」、「衣料品（同14.9%減）」は、1月上旬は福袋販売などにより好調だったが、9日の「まん延防止等重点措置」の適用により来客数が減少し前年同月を下回りました。「雑貨（同36.2%減）」、「家庭用品（同37.7%減）」は、売り場面積の減少（テナント化）などがあり、前年同月を下回ったことから、全体としては8ヵ月連続で前年同月を下回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は前年同月を下回る。

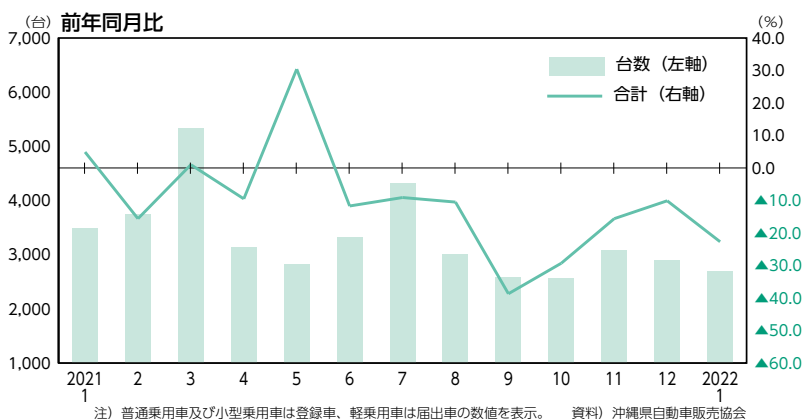
家電卸出荷額は、8ヵ月連続で前年同月を下回りました（同19.1%減）。品目別では、「テレビ（同5.6%増）」は、新商品の発売などにより前年同月を上回りました。一方、「洗濯機（同29.4%減）」、「エアコン（同49.4%減）」は「まん延防止等重点措置」の適用により量販店への客足が鈍ったことなどから前年同月を下回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で2,687台（同22.7%減）となり、8ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同22.6%減）」、「小型乗用車（同17.0%減）」、「軽乗用車（同32.3%減）」において、世界的な半導体不足の影響による納品の遅れが長期化していることなどにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



建設関連

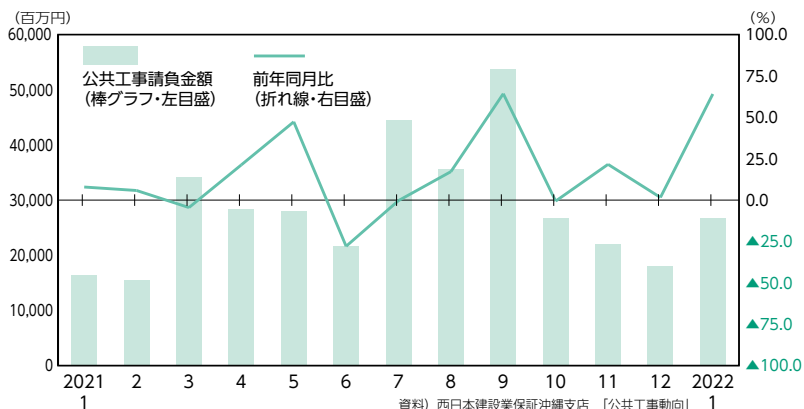


(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

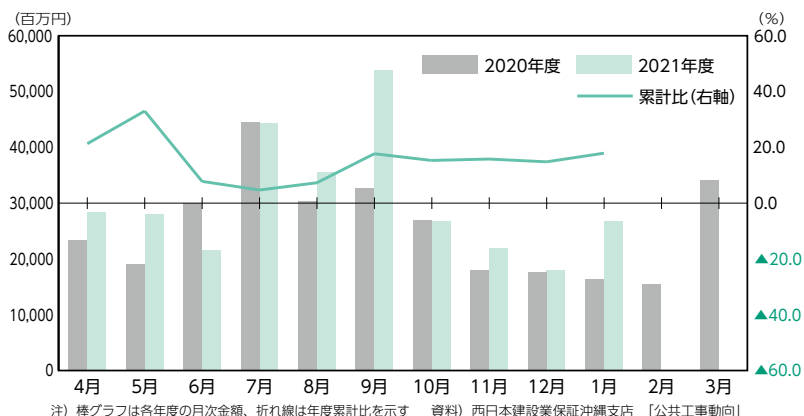
1月の公共工事請負金額は、前年同月比64.1%増の268億1,500万円となりました（3ヵ月連続増）。

発注者別でみると、「国（同190.1%増）」、「沖縄県（同129.7%増）」、「市町村（同5.4%増）」は前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等（同98.9%減）」、「その他の公共的団体（同67.1%減）」は前年同月を下回りました。



【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

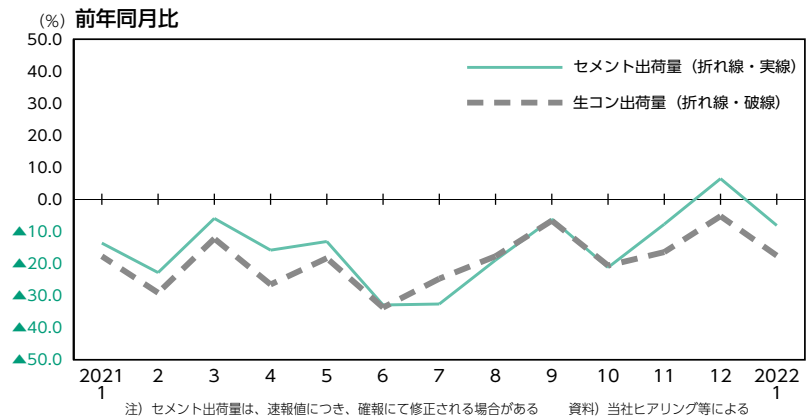
今年度累計値では17.9%増となっております。





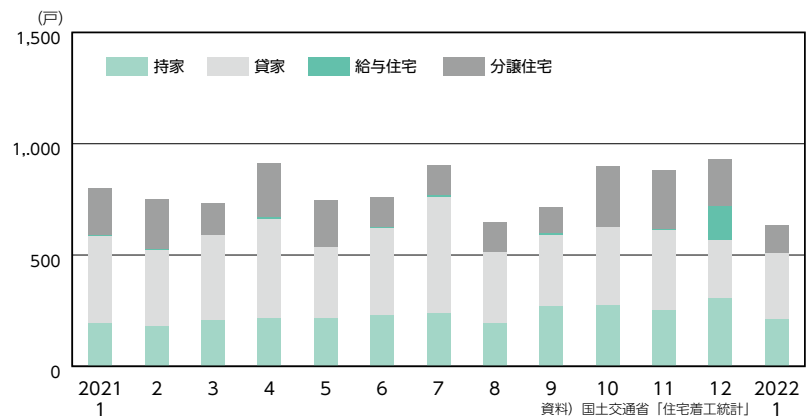
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は17.5%減と24ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連や海事工事、学校関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より28.2%下回り、民間工事向けはホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より8.6%下回りました。セメント出荷量は8.1%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



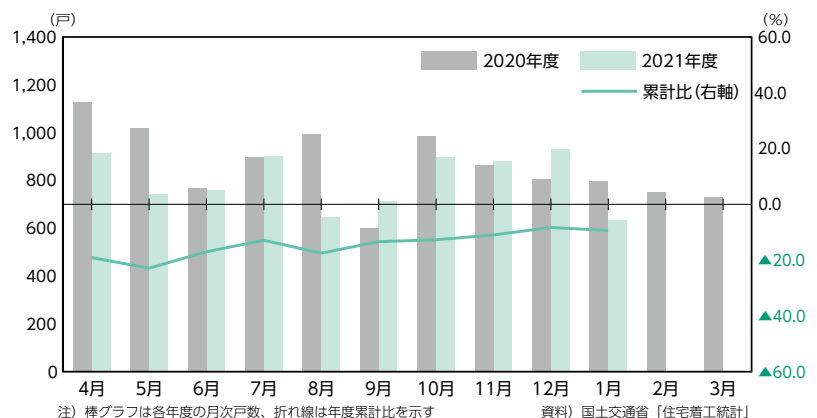
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比20.7%減の633戸となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると「給与住宅(同100%減)」や「分譲住宅(同39.6%減)」、「貸家(同24.6%減)」は前年同月を下回りました。一方、「持家(同9.4%増)」は前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、9.4%減となっています。

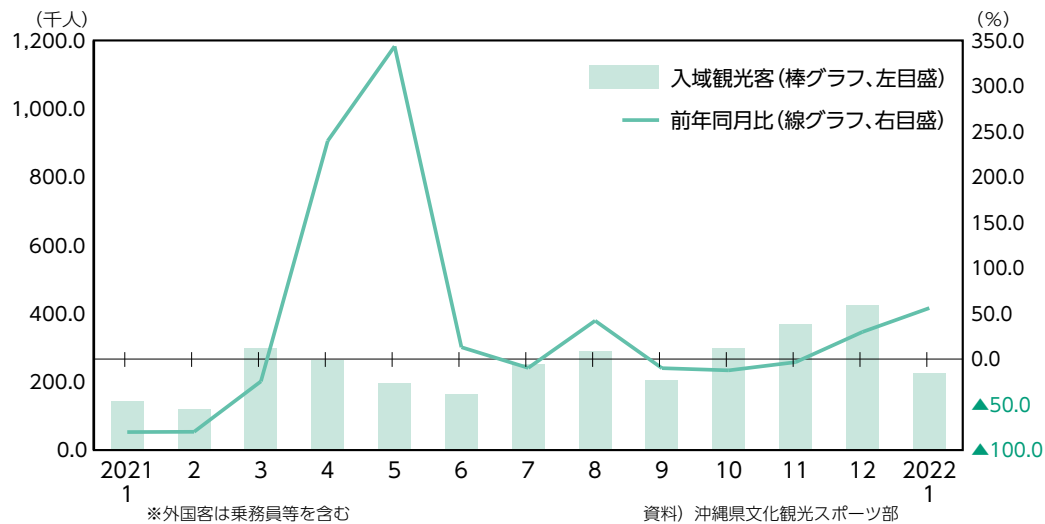


観光関連

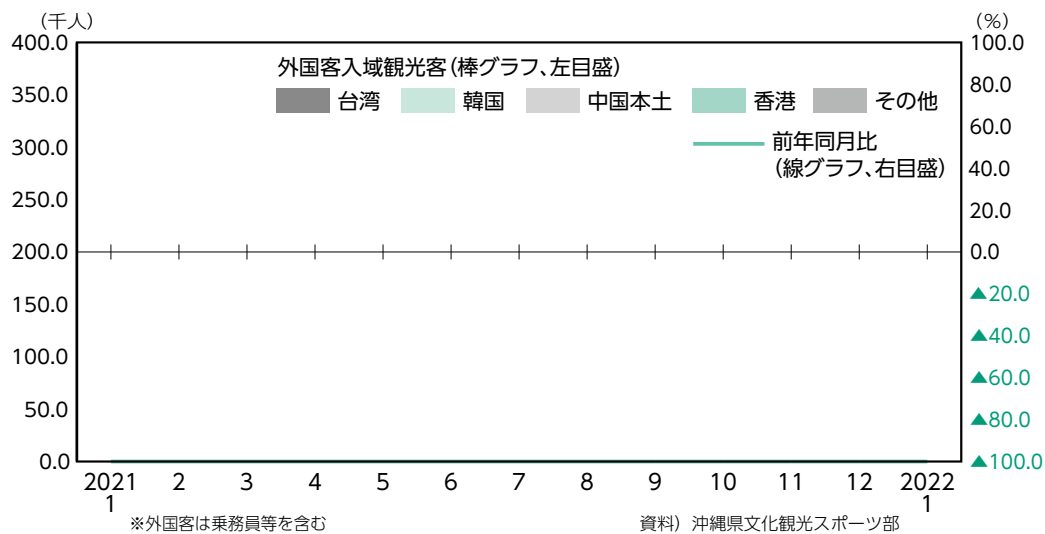


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月同様、皆減。



1月の入域観光客数は、80,600人多い224,600人（前年同月比56.0%増）となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。減便規模が縮小していることなどから、前年同月を上回りました。しかし、前々年（2019年）同月比では503,200人減少（69.1%減）と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

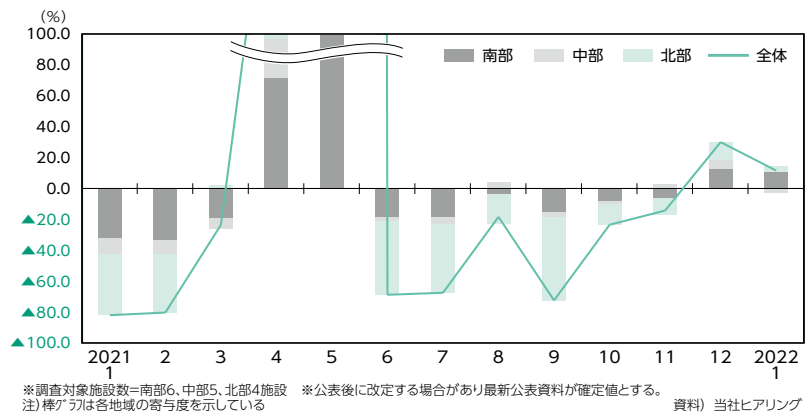
外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。



② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

観光施設入場者数は、全体では11.6%増となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。新型コロナウイルスの感染拡大及び「まん延防止等重点措置」適用の影響を受けたものの、前年同月は新型コロナウイルスの感染拡大及びGo To トラベルの一時停止の影響があったことから上回りました。地域別では、南部の観光施設は42.8%増、中部は15.5%減、北部は6.7%増となりました。

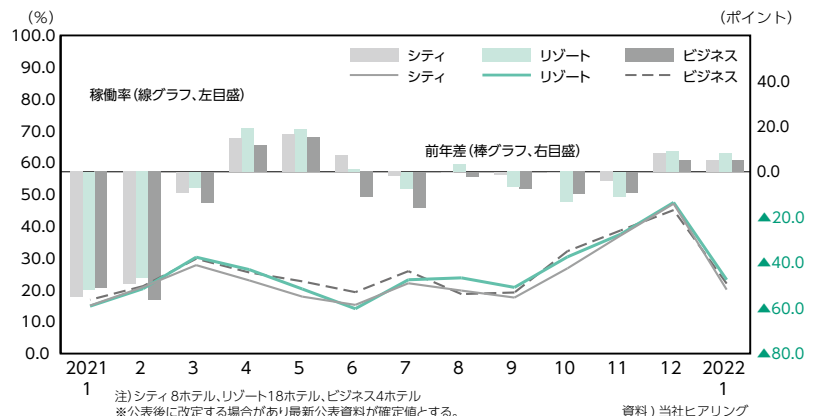
(参考) 前々年(2019年)比では、全体で79.9%の減少となります。内訳では南部の観光施設は82.5%減少、中部は78.7%減少、北部は78.2%の減少となっています。



③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比4.9ポイント増加、リゾートホテルは8.3ポイント増加、ビジネスホテルは5.1ポイント増加しました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大及び9日より適用があった「まん延防止等重点措置」の影響にて、稼働率は大きく減少しました。

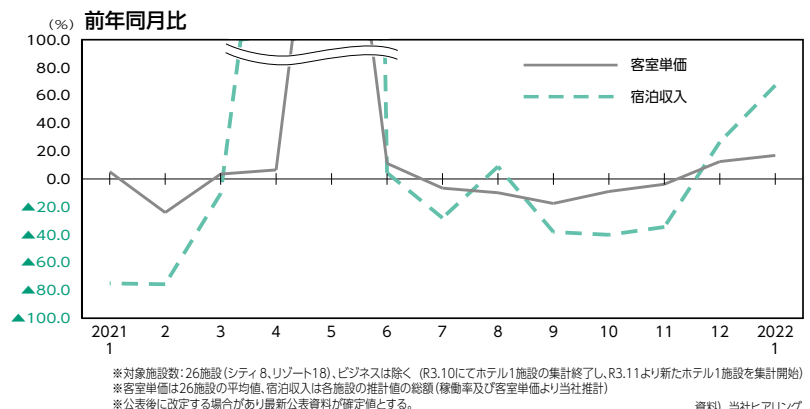
(参考) 前々年(2019年)比では、シティホテルは50.1ポイントの減少、リゾートホテルは43.6ポイントの減少、ビジネスホテルは46.1ポイントの減少となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は16.9%増と2ヵ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**においても67.2%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 前々年(2019年)比では、客室単価は23.0%の増加、客室収入は58.2%の減少となっています。





企業倒産

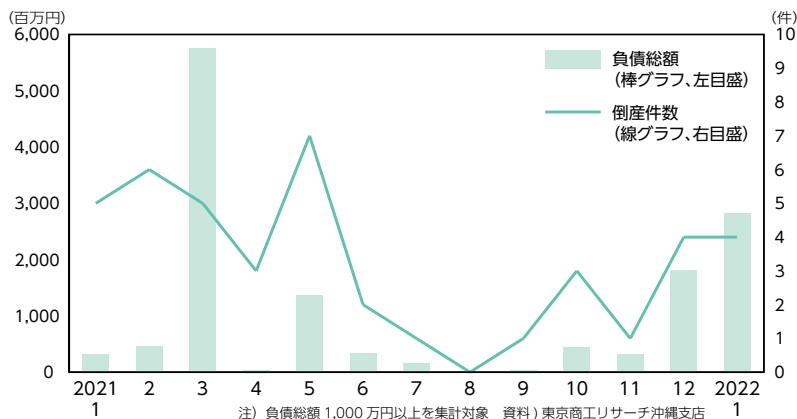


(やや良い)

企業倒産…件数は下回り、負債総額は前年同月を上回る。

1月の企業倒産件数は、4件（うち大型倒産は1件、大口倒産は1件）となり、前年同月より20.0%下回りました。

負債総額は28億1,900万円となり、前年同月より803.5%上回りました。



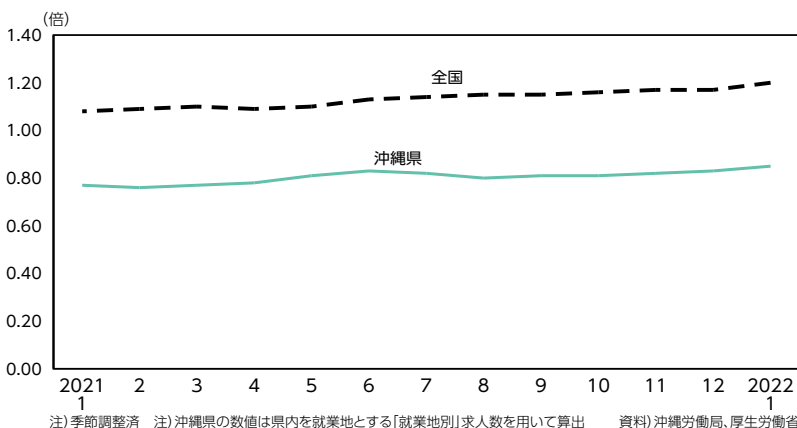
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率(1月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

1月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比3.9%増の27,262人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比1.7%増の32,037人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は0.85倍と、前月より0.02ポイント上昇となりました。



② 完全失業率(1月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

1月の完全失業率(季節調整値)は、4.0%となり前月より0.3ポイント上昇しました。

